

平成 26 年度 東京都内湾水生生物調査 8 月鳥類調査 速報

●実施状況

平成 26 年 8 月 13 日に鳥類調査を実施した。天気は晴もしくは快晴で、気温 28.8～31.6℃、南寄りの風 3.0～4.5m/sec であった。調査当日は大潮で、干潮が 12 時 42 分(34cm)、満潮は 6 時 8 分(215cm)であった(東京都港湾局のデータ)。種数は昨年同時期並だったが、森ヶ崎の鼻は昨年に比べ、個体数が少なかった。当該地点において、調査日にボートの往来が多かったことが影響した可能性がある。各地点の概況を下表に示す。

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
作業時刻	9:13-10:34	13:23-14:19	11:46-12:46
天候	快晴	晴れ	晴れ
気温(℃)	28.8	31.6	31.0
風向	南南東	南南東	南
風速(m)	3.0	4.5	3.2
備考	沖側の杭(範囲外)でミサゴが確認された。	砂浜には観光客が多い。鳥の島内側でバーベキューしている船にはウミネコが 10 羽程度集まる。	調査海域には、レジャーを楽しむ水上バイク1台と、ウェイクボード1グループが水面を利用していた。

●主な出現種等

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
数が多かった	カワウ(1,205 羽)	カワウ(303 羽)	ウミネコ(97 羽)
鳥類上位 2 種	ウミネコ(310 羽)	コサギ(45 羽)	カワウ(81 羽)
その他の鳥類	カルガモ、スズガモ、カンムリカイツブリ、サギ類(アオサギ、ダイサギ等)、バン、シギ・チドリ類(シロチドリ、ホウロクシギ等)、セグロカモメ、オオセグロカモメ	カルガモ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、キアシシギ、ウミネコ、セグロカモメ、ハクセキレイ。	カルガモ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、コチドリ、メダイチドリ、キアシシギ、イソシギ、キョウジョシギ、ユリカモメ、オオセグロカモメ、コアジサシ、ハクセキレイ。
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汀線際には、カワウやカモメ類が休息。</li> <li>・汀線際や干潟では、シロチドリ、ホウロクシギ、アオアシシギなどのシギ・チドリ類 8 種を確認。</li> <li>・ヨシ原でバンを確認。</li> <li>・重要種として、14 種を確認(バン、ダイゼン、シロチドリ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、ソリハシシギ等)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第六台場や鳥の島では、300 羽以上のカワウを確認。</li> <li>・ゴイサギの幼鳥を確認。</li> <li>・シギ・チドリ類は、キアシシギ 1 種のみ確認。</li> <li>・重要種として、3 種を確認(ダイサギ、コサギ、キアシシギ)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コアジサシが干潟や水面上を飛翔。</li> <li>・干潟や杭上では、カワウが休息。</li> <li>・周辺の人工構造物でキアシシギやイソシギを確認。</li> <li>・シギ・チドリ類はメダイチドリ、キョウジョシギなど 5 種確認。</li> <li>・重要種として、8 種を確認(ダイサギ、コサギ、コチドリ、メダイチドリ、キアシシギ、イソシギ、キョウジョシギ、コアジサシ)。</li> </ul>

●出現種と個体数

No.	目	科	種	5月			6月			8月			重要種 選定基準			
				葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	文化財保護法*1	種の保存法*2	環境省RL*3	東京都RDB(区)*4
1	カモ	カモ	カルガモ	14	12	18	19	11	7	11	6	1				
2			スズガモ	12			16			10						留意種
3	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	3			4			1						留意種
4	カワオドリ	ウ	カワウ	236	851	55	1598	591	130	1205	303	81				
5	ペリカン	サギ	ヨシゴイ				1							NT	CR	
6			ゴイサギ		3			4			4					
7			アオサギ	4	30	11	16	23	5	16	15	7				
8			ダイサギ	29	3		19	4	2	33	11	2				VU
9			コサギ	12	7	14	18	35	2	48	45	6				VU
10		トキ	クロヅラヘラサギ	1			1							EN	CR	
11	ツル	クイナ	バン	1						2						VU
12	チドリ	チドリ	ダイゼン							2						VU
13			コチドリ	3		2						1				VU
14			シロチドリ	6		3	7		4	28				VU	VU	
15			メダイチドリ	1		13				2		4				NT
16		ミヤコドリ	ミヤコドリ	35			3									EN
17		シギ	タシギ	1												VU
18			オオソリハシシギ	2										VU	EN	
19			チュウシャクシギ	5		2										VU
20			ダイシャクシギ	1			1			2						CR
21			ホウロクシギ				1			1				VU	CR	
22			アオアシシギ	7						1						NT
23			キアシシギ	10	11	5				3	3	1				VU
24			ソリハシシギ							1						VU
25			インシギ	1	1	3			1	1		2				VU
26			キョウジョシギ		34	35						2				VU
27			オバシギ	19												EN
28			トウネン	47												NT
29			ハマシギ	179										NT	NT	
30		カモメ	ヨリカモメ			1	1					2				
31			ウミネコ	37		6	258		2	310	23	97				
32			セグロカモメ							7	2					
33			オオセグロカモメ	12		2	10		1	25		3				
34			コアジサシ	8		123	2		310			4		国際	VU	EN
35			アジサシ	219			1									
36	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ		1				2		1	5				
計 7目11科36種				27種	10種	15種	18種	6種	11種	20種	10種	15種	0種	1種	7種	26種

※種の分類・配列は「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会, 2012)に従った。

\*1文化財保護法:

\*2種の保存法: 国際:国際希少野生動物植物

\*3環境省レッドリスト: EN:絶滅危惧I B類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧

参照: [http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb\\_f.html](http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb_f.html)

環境省自然環境局野生生物課. 2012年. 環境省第4次レッドリスト.

\*4レッドデータブック東京2013: CR:絶滅危惧I A類、EN:絶滅危惧I B類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、留:留意種

東京都環境局自然環境部. 2013年. レッドデータブック東京2013~東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)解説編~.

## <葛西人工渚>



### ○調査地点の状況

干潟から西側を望む。奥に見えるのは葛西海浜公園。干潮時のため、干潟はかなり広い。砂っぽい箇所や泥っぽい場所が混在する。観察範囲は以下のとおり。



### ■ 観察範囲



### ○出現種 (カワウ)

人工渚で最も個体数の多い鳥類。汀線付近で1,000羽程度が休息していた。



### ○出現種 (アオアシシギ)

環境省レッドリストでは準絶滅危惧(NC)に指定されている。春と秋にみられる旅鳥。葛西人工渚では干潟の汀線際で採食していた。



### ○出現種 (カンムリカイツブリ)

レッドデータブック東京 2013 では留意種にランクされている。観察範囲の沖側で採餌のために潜水する姿が確認された。

### ○出現種 (スズガモ)

レッドデータブック東京 2013 では留意種にランクされている。本来冬鳥で、冬には数千羽が当地で越冬する。今回は10羽が干潟の汀線際で確認された。



<お台場海浜公園>



○調査地点の状況

お台場海浜公園の砂場と第六台場、鳥の島が調査範囲。詳細な観察範囲は以下のとおり。



観察範囲



○出現種 (ゴイサギの幼鳥)

6月に引き続き、第六台場の樹上でゴイサギの幼鳥が3羽確認された。



○出現種 (ダイサギ、コサギ、アオサギ)

第六台場などの樹上ではサギ類が集団で繁殖している。ダイサギ、コサギ(幼鳥含む)、アオサギを確認した。



○出現種 (カワウ)

第六台場や鳥の島、水際の消波ブロック上に集団で休息していた。羽を乾かすために、翼を広げる様子がよくみられる。



お盆休みと重なり、砂浜には観光客が多かった。

## <森ヶ崎の鼻>



### ○調査地点の状況

昭和島、京浜島、羽田空港に囲まれた干潟。右手奥に見えるのは、森ヶ崎水再生センター。コアジサシの営巣地として整備されている。詳細な観察範囲は以下のとおり。



 観察範囲



### ○出現種 (コアジサシ)

種の保存法では国際希少野生動植物に、環境省レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類 (VU) に指定されている。数羽が干潟上を飛行している様子が確認された。水面にダイビングして魚等を捕える。



### ○出現種 (キアシシギ)

環境省レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類 (VU) に指定されている。観察範囲の周辺のコンクリートブロック上で確認。春と秋にみられる旅鳥。



○出現種 (カワウ)  
干潟の高所や、杭上で確認。



### ○出現種 (イソシギ)

環境省レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類 (VU) に指定されている。キアシシギと同様に、周辺のコンクリートブロック上で確認。1年中みられる留鳥である。胸の脇に白色部が食い込んでいるのが特徴。



観察範囲では、水上バイクやウェイクボードを楽しむ団体が確認された。